

日田市奨学資金貸付制度の見直しと給付型奨学金の創設

【テーマ】日田市奨学資金貸付制度の見直しと給付型奨学金の創設

【背景】進学希望者の増加に伴い、家庭の経済的負担が課題となる中、
崎尾は「夢を諦めないための支援策」として奨学資金制度の見直しを質問。

【市の答弁】・現行制度では貸付型奨学金を実施中。
返還免除条件は厳しく、経済的理由で申請できないケースもある。
・県や国の制度との整合を図りつつ、柔軟な制度運用を検討中。

【崎尾の提案・意見】・貸付型だけでなく「給付型奨学金」の導入を提案。
経済的事情により進学を諦める生徒をなくすことが目的。
・制度設計の方向性を整理するため、「検討委員会の設置」を市に要望。
・地域で学び、地域で働く若者を育てる「人への投資」としての奨学金を提唱。

【質問の成果】この提案を受け、市は制度を再検討。
令和7年度より新たに**『みどりの給付型奨学金』**を事業化。
・高校・高専生：入学準備金10万円・専修学校・大学生：入学準備金20万円
・年間予算上限：140万円
経済的支援をより公平に行う制度として、具体化が進められた。

【まとめ】>「お金の壁で、夢を止めない。」
崎尾は、教育への投資は地域の未来を支える力であるとし、
誰もが希望する進路に挑戦できる“日田モデルの奨学金制度”の実現を訴えた。